



自分を割いて与える

洗礼の準備をしている若者が

いうことなので……。

いる。四年前から時々日曜日の

小さいときから親との関わり

ミサに参加したり、平日に聖堂

がうまくいかず悩んでいた。親

に祈るために来ていた。ミサの

の愛を感じることができず、自

後の「お茶」にも参加するよう

分はなんのために生まれ、なぜ

になった。いろいろと質問する

生きていくのかわからず、自傷

ようになった。この夏、洗礼を

行為を何度も繰り返ししてきた。

受けたと言ってきた。洗礼を

最近、気づいた。自分はただ生

受けることがどんなことか、信

きているのではなくて、生かさ

者になるといことがどんなこ

れて生きている。それに気づい

とかよくわからないので、とに

たら案になった。落ち着いた。

かく時間をとってくれないか

親も赦ゆるせるような気がするよう

と。土曜日の夜のミサの後の時

間になってきた。自分には自分の

間を準備にあてるようにした。

生きる目的があるのではないか

彼のことを話してもいい、と

と思うようになった。

「準備」は彼が用意してきた

質問から始まる。祈りの型は決

参加して信者の皆さんと関わる

まっているのか。合掌して祈る

につれ温かさを感じ、仲間に加

のか。指を組んで祈るのか。カ

わりたいと思うようになった。

トリックではどちらが正しいの

最近、初めて平日の朝のミサ

か。自殺したら救われないのか。

とを話してくれた。

洗礼を受けてない人の救いはど

聖体を割って、それを信者の

うなるのか。

皆に配るのはとてもいいように

そういうこと、宗教的なこと

思う。イエスは「割って」弟子

にいつから興味が出てきたのか

たちに食べさせたので、そうす

聞くと、小学生の頃からという。

することはいいと思う。感動した。

カトリックの入門書を小学六年

イエスが自分を分け与えた、と

生のときにすでに読んでいた。

いうことがよくわかった。自分

最近になって「生かされて生き

自身を食べさせているというこ

ている」ことに気づき、ミサに

とがよくわかる……。



やまもと まこと
山元 眞 神父

早朝のミサの参加者は四、五人。人数が少ないときは、司祭用？の聖体を人数分に割って拝領するようにしている。

夏の間、主日のミサではヨハネ福音書の「いのちのパン」についてのイエスの教えが続いて読まれていた。先の話聞いたときの「準備会」は夜中まで続いた。翌朝のミサの説教のときに彼の「気づき」を話した。

イエスが復活した後、弟子たちは日曜日を復活の記念の日、主日として「パンを割く式」をしていた。以後、二千年の間この「記念」が繰り返されている。

イエスの言葉がミサの度に繰り返される。しかし、「平和の賛歌」が歌われている間にパン（聖体）が割かれるので、その動作は会衆からはよく見えないし、いつの間にか？パンが割かれていることにもなる。ミサの中でも最も大切な時、「しるし」があまり意識されないこと

になる。できるだけ会衆に見えるようにパンを割くのだが……多くの人はその間「聖歌集」に目をやっている……。

割かれたパンが会衆に示されるとき信者は「あなたは神の子キリスト。あなたをおいて誰のところにいきましょう。（わたしはあなたの元に止まります）」と使徒ペトロの言葉を借りて聖体に対する信仰を宣言する。イエスをご自分を割いてわたしたちに与えてくださることを信じ、それを宣言するのである。

イエスが過越の食事のパンを自分自身とし、そのひとつのパンを割いて弟子たちに渡した。そのように今、わたしたちもキリストの体をいただく。そこには「皆がひとつになるように」「皆もたがいと与え合うように」という命をかけたイエスの思いが込められている。ひとつのパンが割かれる。それをいただく。そうして、わたしたちはキリス

トと、人々とひとつになる。いろいろな方から教ええられる。

とくに大切なことを教えてくれる方……ホームレスの人、病氣の人、障がいのある人、無力と思える人、貧しい人、赤ちゃん、そして高齢者の方。その若者が言っていた。

「聖体拝領のときの神父さんの祝福と信者の皆さんの温かい包むような気持ちがあれば、ぼくは、ずっと前に教会に来るのを止めていたと思う。」



【幼稚園ホームページ】

[http://www.](http://www.yukuhasi.kohitsui.jp/)

[yukuhasi.kohitsui.jp/](http://www.yukuhasi.kohitsui.jp/)

【ブログ】

<http://micheleyam.exblog.jp>

＝善き隣人として奉仕する＝

葬儀の御用は弊社に

TEL 03-3702-0156 FAX 03-3702-0159

※御報参上・手続代行他。

〒158-0086 東京都世田谷区尾山台3-9-6

(株)

沼崎商会

サマリア式典部 沼崎 馨